

矢崎標準メータ

量産品

2022年搭載

金型費やソフトウェア開発費を抑え、少量企画車両に対応可能
自動車だけでなく、小型モビリティや農建機などにも提供可能な標準メータ

背景・課題

開発費や金型費は少量企画であっても発生するため、コスト低減が困難
従来製品はカスタマイズができない

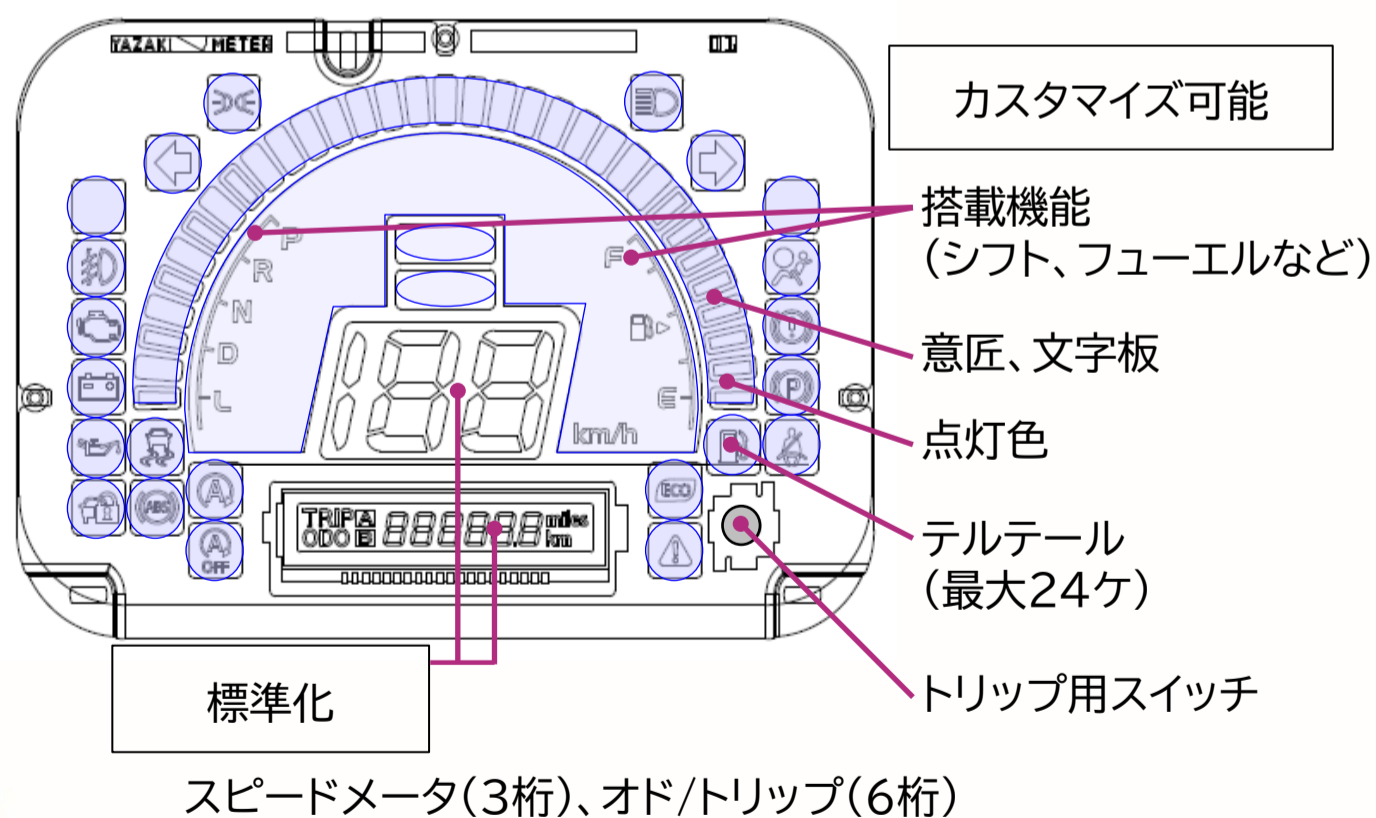
課題への解決・特徴

- 1 標準化
ケース、基板、ソフトウェアなどの基本設計/機能の標準化によりコスト低減を実現
- 2 カスタマイズ可能
小規模なハード設計とソフトウェア変更で様々なバリエーションを実現

主要性能, 仕様・構造

◆LED デジタルメータ

安価で視認性の良い LED デジタル表示のスピードメータ



デザイン例

